

飾っておきたいけど、埃がついたりするから、簡単にお手入れするにはどうしたらいいの？

と、お客様からご相談がありました。当社でのお手入れ方法をご紹介します！

～ 大名でのお手入れ方法 ～

具足
(兜、面類、三具等)



① 羽ばたきで優しくはたきます



② ガーゼやタオルで拭きます (布布袋で汚れをふくと細かい所まで出来ますよ)



③ オリーブ油を軽く塗ります (筆等を使い、薄っすら塗るイメージです)

当社では、①～②を毎週掃除の日に行っています。オリーブ油については、商品の状態※を見ながらしています。(※漆の割れやヒビ) ③については、商品の漆の割れや、ヒビ、乾燥等の状態を見ながらしています。商品の状態も色々ありますので、分からないことがあれば、お気軽にご相談下さい。

刀



① 古い油、汚れを拭き取ります



② 打粉をつけます



③ 打ち粉を柔らかい布や、ティッシュペーパーで拭きます



④ 柔らかい布やティッシュペーパー等に油をふくませ、拭きます (手を切らないように気をつけます)

- 当社では、商品を入荷し撮影前にまず手入れをしています。商品が錆たりしないよう、写真撮影後も手入れをしています。
- 商品がお手元に届きましたら、一度御手入れをしてみてください。

※御刀手入道具を必要なお客様は、ご連絡下さい。当社で使用している手入道具▶



放っておくと手入れも大変になり、元の状態に戻ることは難しいです。こまめにお手入れすることで、300年以上経った今も、こうして私たちの元で輝いています。日本のよい歴史・仕事を、後世に残すという意味でも、お手入れを続けてみてください。



届けますっ! 大和魂 2021年12月 Vol.45

经营理念

有限会社大名は「届けますっ!大和魂」を合言葉に日本の歴史、古美術を発信し、貴方(お客様)の趣味を応援するタイムマシーン企業を目指します

～ご挨拶～

2021年も「有限会社 大名」をご愛顧頂き誠にありがとうございました。今年も残すところ、僅かとなってしまいました。2022年も、皆様がどうか体調を崩さず、笑顔で新しい一年を迎えられるよう願っております。来年も引き続き「届けますっ!大和魂」を宜しく願い申し上げます。

大晦日 読まずに越せぬ 定めかな

俳句

大晦日に大和魂を読まずには年を越せない運命にある…という意味



こんにちは、島谷貴子です。今年もあと少しとなりましたね。皆様いかがお過ごしでしょうか？「師走は忙しいですね」と、よく12月に言っているのを耳にしますが、理由は諸説あり…

なぜ「師走」(しはす)に忙しくなるの？

- ▶ 「師馳せ月」で、昔はお正月にも先祖供養をしていたために師(お坊さん)が忙しく走り回っていた事から
 - ▶ 読経をする師までも、走り回らなければ、間に合わないと思わせる程の多忙であると言われる事から
 - ▶ 1年の最後の月で、年内にやるべき事は終わらせると言う意味で「為果つ」と言われる事から
 - ▶ 年神様※を盛大にお迎えする準備が、大変な事から
- ※人々に新しい年齢と、一年を生き抜く生命力や幸運を与えてくれる神様

しかし、910年も前の平安時代末期から、12月は走り回るほど、忙しい月と言われていました。

江戸時代の女性たちの過ごし方

① 煤払い(大掃除)

江戸時代では、毎年12月13日に武家も庶民も身分関係なく、この日に煤払いをする事が決まりました。この日は鬼宿日と言われ、婚礼以外であれば全て吉と言われていました。数日かけて、身の回りの汚れ、家を綺麗にし、すがすがしい新年を迎えていました。

② 餅つき

大掃除が終われば、商家では餅つきが始まります。「一年の売上、お店があるのは皆様ののおかげ」の感謝の気持ちを込めて、ご近所で配っていました。

③ 食べられない食積、食べられるおせちの準備

一般的に「数の子、田作り、たたき牛蒡、黒豆」を、正月に家族や親戚、友達と楽しみます。

④ 正月飾りの準備

しめ縄や鏡餅、門松、女の子がいる家では、無病息災を願って羽子板を飾ります。



12月29日は「苦」がつくので縁起が悪い為、12月28日にまでに全てを終わらせなければなりません。そして12月29日～1月2日の朝まで、ゆっくりとした時間を過ごしていました。今も昔も新しい年を迎える為、新しい年をゆっくりと過ごす為、12月は忙しくなるんだなと思いました。島谷家でも、クリスマス会、誕生日会(長女)、大掃除、新年の準備(お節料理)と毎年大忙しですが、昔の人に習って、少し早めに大掃除をし、ゆっくりとした年の瀬を迎えようと思います。「今年も家族揃って、良い年になりますように」、そして「皆様が良い年を迎えられますように」。



LINEとInstagram 始めました

新商品・特別情報 LINEにて発信中!



大名



今号の大和魂はいかがでしたか? 皆様のご意見、ご感想どしどしお寄せください。お待ちしております。

件名:ニュースレター返信と入力して送信して下さい。



最新情報はホームページ <https://daimyou.com/>

有限会社

大名

広島県尾道市栗原町2-1 3F Eメール sengoku-54jp@hi.enjoy.ne.jp
TEL.0848-29-3936 FAX.0848-29-3937

こんにちは。中堀明美です。今年も沢山のご意見、ご感想をお寄せ頂き誠にありがとうございました。貴方様に読んで頂いていると実感でき、とても幸せです。今号では「薙刀」について語らせて頂きます。2021年最後の「語ります」大和魂を楽しんで下さい。



語ります 大和魂

原形は?

手鉾 てぼこ



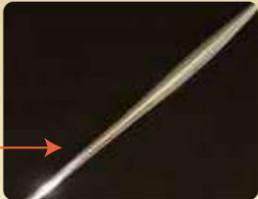
薙刀



手鉾からだと言われており、戦いやすく改良され相手を薙ぎ斬る(勢いよく横に払って切る)ことを目的に平安時代に武器として造られました。菖蒲造と呼ばれる形状の刀身を、長い柄の先に付けたのがはじまりと言われています。

刀身がショウブの葉の形に似たもの。切先にいくにしたがって細くなっている

刀身が軽量すぎて威力に欠けたため、鎌倉時代頃から刀身の身幅を広げて、反りを強くした形状に変わりました。重量を増すための工夫として、棟(むね:刃先と反対側)側に山型の突起を付けた薙刀が制作されるようになります。



破壊力が強すぎて...



薙刀直し



脇差

遠くにいる敵を斬ることができ、振り回せば一気に複数の敵を倒すことも出来ます。とてつもない攻撃力で最強の武器と言われ、南北朝時代の主要武器として流行しました。

戦国時代になると、戦闘形式が集団戦へと変化し、味方を誤って斬り付ける事故が発生しました。その為、薙刀から槍が主流となっていきました。また、合戦に参加していた武将の正室や母親といった女性が、城主不在となったお城を守るために用いる武具となりました。薙刀は振り上げれば、重力によって振り下ろすことが可能。非力な女性でも簡単に攻撃できることから、多くの女性が戦いの際の武具に薙刀を活用していました。槍の登場により衰退した後、「薙刀直し」と呼ばれる日本刀へ作り変えられました。

薙刀の種類



静形薙刀 しずかたがたなぎなた

男薙刀とも呼ばれ、形状や長さに明確な規定がない薙刀です。反りが浅く、身幅の先が狭い、菖蒲造の日本刀に似ているのが特徴。源義経の愛妾(愛人)だった「静御前」にちなんで命名されたそうです。



巴形薙刀 ともえがたなぎなた

女薙刀とも呼ばれ、形状や長さに明確な規定がない薙刀です。切先の方が強く反り、身幅が広がっているのが特徴。巴御前にちなんで名称が付けられたと言われています。



筑紫薙刀 つくしなぎなた

九州地方の大名「大友家」を中心に、筑紫地方で盛んに使用された薙刀です。最大の特徴は、柄に収める茎がないこと。刀身の棟側に櫃という輪状の金具を付け、そこに柄を通すという特殊な構造をしています。



女武将! 巴御前

実際の戦に参加した女武将であり、薙刀の使い手としても知られています。平安時代後期、源義仲(木曾義仲)の側室であった女性。義仲に付き従って様々な戦いに参

戦し、いくつもの武功を挙げています。

1184年「宇治川の戦い」で敵軍の源義経に義仲軍は迫られ覚悟を決めます。

「女を死の道連れにするのは末代までの恥だ」と巴に逃げるように命じます。

最後まで逃げずに戦おうと拒んでいた巴も、浚々命令を受け入れ逃げようとしませんが...すぐ後ろから剛力で有名な敵将、恩田八郎師重が迫ってきます。巴は義仲に「わたくしの最後の戦をご覧に入れます」と師重を馬から引きずり落とし、首級を叩き落としました。啞然とする敵勢を前に鎧や兜を脱ぎ捨て、東の方角へと走り去っていったそうです。その後、巴は女武将として戦うことはなかったそうです。



義仲は巴に生き伸びて欲しくて、巴は義仲を守りたかった。巴にとっては自身が死んでしまうより、義仲が死んでしまう事の方がよっぽど怖かったのだと思います。義仲を守るといふ想いで女武将として強く、また女性として美しくいられたのだと感じました。



ハナエモン

タイムスリップ!



今号も逆境に立ち向かった武将をご紹介します。今回はこの方にタイムスリップ!

日本一の兵(ひのもといちのつわもの)

真田信繁(真田幸村)

さなだ のぶしげ (さなだ ゆきむら) 1567か1570-1615 48歳か44歳



真田幸村と名乗ったことが無い!?

幸村という名で有名な信繁ですが、生前、幸村と名乗ったことは無いそうです。現存している書状全ても信繁と書いているそうです。なぜ、幸村と呼ばれるようになったのか? 諸説あるようですが、「幸」の字が真田家の通字(とおりじ:先祖代々、名前にいれる特定の漢字)だそうです。「村」は徳川家仇なす妖刀「村正」が由来している説があります。江戸時代の小説で大阪の陣を描いた「難波戦記 なにわせんき」、講談の「真田三代記」が大ヒットし、その中で幸村という名で登場した為、広く世間に認知されてしまったそうです。徳川の世で、徳川家康を追いつめた武将の話なので、フィクションということで、幸村として登場したそうです。

真田家の名が天下に知れ渡る上田合戦

豊臣秀吉が亡くなると、影響力を強めていった徳川家康に対抗して、石田三成を中心に反徳川勢力が結集します。反徳川勢力の上杉家討伐の兵を起こします。当初、信繁の父・昌幸は家康に従っていましたが、離反して上田城に戻ります。上田城に接近してきた家康の子・秀忠に降伏し許されます。しかし、数日たっても参上しない昌幸に秀忠が使いを出すと、「戦の準備は整いましたので、いつでもご自由に攻めてきて下さい(笑)」と返答します。怒った秀忠は38,000の軍勢で押し寄せてきます。対する真田家は3,000の軍勢。小競り合いをして、わざと退却しては追ってきた徳川軍を集中攻撃したり、退却と見せかけて水攻めをしたり、夜討、朝駈けを繰り返して、大打撃を与え、撤退させます。しかし、反徳川勢力が関ヶ原で敗れたことで、真田親子は捕らえられ、命こそ取られませんが、高野山に蟄居(閉門し、外出禁止)させられます。父・昌幸は蟄居の中、命を落とします。

信繁最後の戦い

関ヶ原の戦い以降、更に影響力を強めた徳川家康が豊臣家を減ぼす為に難癖をつけ戦に持ち込みます。蟄居をしていた信繁の元にも、豊臣家から応援の依頼が来ます。信繁は旧武田家臣達にも声をかけ、5,000の軍勢で大阪城に入ります。信繁は真田丸という出城を築き、火縄銃を駆使して、大量の徳川軍を撃退し、武名を轟かせます。攻めあぐねた徳川が和議を申込、豊臣も受け入れます。その和議の条件で、大阪城の堀を埋めることが約束されました。徳川軍が堀を埋めることで、堅城大阪城が裸の城にされてしまいました。和議をしたことで、豊臣軍は浪人の解雇をしたり、勝ち目無しと感じた浪人達が逃亡したりと、10万いた軍勢が7万8,000まで減ってしまいます。対する徳川軍は15万。圧倒的な兵力差の中、裸城になったことで、野戦で決戦をすることになります。そんな中、死を覚悟した信繁隊、毛利隊、大野隊の猛攻が、家康の本陣に2度迫り、家康も切腹を覚悟するまで追い詰めました。しかし、多数に無勢で徐々に押し寄せられ、信繁も退却し、その後、討ち取られてしまいます。

家康本陣に迫る猛攻を見せた信繁。家康本陣も混乱に陥り、家康人生で2度目の、馬印(うまじるし:大将の所在を表すもの)を倒される屈辱的な行為を受けます。1度目は、真田家が仕えていた武田信玄との戦いでのことでした。この戦いぶりから、敵方の徳川方の武将・細川忠興(ほそかわただおき)が「古今これなき大手柄」、島津家久から「真田日本一の兵」と称えられています。また江戸幕府の資料、大名諸家の資料にも信繁の奮戦ぶりが記録として残っているそうです。

